

ほんと 保健室

てんかん シリーズ ⑤

★ 検査について ★

A. てんかんが疑われる場合、どのような検査を受ければよいのでしょうか？



必須となる検査としては、

脳波検査

脳の電氣的な活動状態を把握する検査です。
(発作中の脳波には必ず異常所見が存在し、てんかんがあれば、脳波が観察されます。)

危険性はまったくなく、小児でも安心して受けることができます。検査において最も望ましいことは、睡眠中の脳波を記録することです。

→てんかん性の異常脳波が睡眠中に出現しやすい傾向があるからです。検査の前日には睡眠時間を多少制限し、やや睡不足の状態で行ってください。

○当日は昼寝をさせないようにしてください。

頭部CT

脳の構造的な異常を把握しようとする検査

これのみで、てんかんが診断できるわけではありません。しかし、てんかん発作の背後に脳腫瘍、その他、進行性の脳疾患が潜んでいる可能性があります。てんかんの原因となった疾患の後遺症としての病巣が検出できることもあります。そのような原因疾患を鑑別するために、一度は行っておく必要があります。

血中濃度

血液の中に含まれる薬物の量を測定したもの

薬剤に対して最小の副作用で最大の効果が達成できるように適量を示した血液中の濃度があります。その濃度を調べることによって、体に合った量を調節することができます。

★脳波検査とは、あくまでも補助的な検査であり、てんかんの診断は最終的には臨床の症状に基づいてなされるものです。

★医師の指示に従って定期的に検査を受けることをお勧めします。

